

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	経済学	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	経済学の概要	18	マクロ経済学：GDP の概要と決定原理
2	経済学の歴史：スミスとマルクス経済学	19	マクロ経済学：三面等価の原則
3	経済学の歴史：ケインズ学派と制度学派	20	マクロ経済学：経済主体（家計・企業・政府）
4	経済学の歴史：新古典派と新古典派総合	21	マクロ経済学：政府の財政政策
5	ミクロ経済学とマクロ経済学	22	マクロ経済学：資源配分・経済安定化機能
6	ミクロ経済学：需要曲線と供給曲線と価格	23	マクロ経済学：所得再分配機能
7	ミクロ経済学：消費者の行動	24	マクロ経済学：税制と所得再分配効果
8	ミクロ経済学：企業の行動	25	マクロ経済学：現金給付・現物給付
9	ミクロ経済学：市場の機能	26	マクロ経済学：政府の金融政策
10	ミクロ経済学：価格メカニズム	27	マクロ経済学：中央銀行の役割
11	ミクロ経済学：無差別曲線	28	マクロ経済学：インフレ・デフレ
12	ミクロ経済学：独占と寡占（様々な市場）	29	マクロ経済学：物価水準
13	ミクロ経済学：外部性（他人からの損得）	30	マクロ経済学：労働市場
14	ミクロ経済学：経済財・自由財・公共財	31	マクロ経済学：経済成長と経済政策
15	ミクロ経済学：情報の非対称性	32	マクロ経済学：国際収支と為替レート
16	前期のまとめ（経済学の歴史・ミクロ経済学）	33	マクロ経済学：政府と市場の関係
17	期末試験（前期）	34	後期のまとめ（マクロ経済学）
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本経済	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全35回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	日本経済の軌跡：近代化と戦争	18	日本経済と金融：貯蓄・直接金融・間接金融
2	日本経済の軌跡：復興と高度成長	19	日本経済と金融：証券市場・為替市場
3	日本経済の軌跡：バブルとデフレ	20	日本経済と金融：金融政策の目標と手段
4	日本経済と人口：人口動態と少子高齢化	21	日本経済と財政：財政の規模と構造
5	日本経済と環境：土地利用と自然災害	22	日本経済と財政：税制と国債
6	日本経済と国富：国富の構成	23	日本経済と財政：財政政策と財政再建
7	日本経済の構造：国民所得統計と GDP	24	日本経済と国際収支：輸出・輸入
8	日本経済と情報通信：情報化と雇用	25	日本経済と国際収支：サービス・所得収支
9	日本経済と情報化社会：産業構造への影響	26	日本経済と国民生活：経済力と生活の質
10	日本経済と情報化社会：社会的影響と課題	27	日本経済と国民生活：社会保障
11	日本経済と労働：就業構造の変化	28	日本経済と国民生活：年金問題
12	日本経済と労働：技術革新と労働生産性	29	日本経済の停滞：「企業」行動・投資の変貌
13	日本経済と労働：利益剰余金と労働分配率	30	日本経済の停滞：「国民」需要不足と購買力
14	日本経済と労働：賃金と経済成長の関係	31	日本経済の停滞：「政府」金融財政政策の再考
15	日本経済と雇用：失業率・外国人労働者	32	日本経済の展望：コロナ・ショック
16	前期のまとめ（日本経済の変遷）	33	日本経済の展望：アジア・世界の中の日本
17	期末試験（前期）	34	後期のまとめ（日本経済の特徴）
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年度	2022年度	授業の方法	講義
授業科目名	日本の生活	授業期	前後期
履修学年	1 学年	授業回数	全35回
単位数	2 単位	授業時間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション	18	世帯・家族①少子高齢・縮小する世帯・家族
2	災害・事故に備えよう①地震・津波	19	〃 ②所得・資産・家計
3	〃 ②台風・豪雨	20	〃 ③労働時間・生活時間
4	〃 ③猛暑・酷暑	21	〃 ④家制度・冠婚葬祭
5	〃 ④花粉・ウイルス	22	〃 ⑤子育て
6	〃 ⑤事件・事故	23	医療・社会保障①医療
7	47 都道府県どんなところ①北海道・東北	24	〃 ②年金
8	〃 ②関東・甲信越	25	〃 ③介護
9	〃 ③中部・東海	26	〃 ④雇用
10	〃 ④近畿・北陸	27	〃 ⑤労働災害
11	〃 ⑤中国・四国	28	〃 ⑥生活保護
12	〃 ⑥九州・沖縄	29	〃 ⑦社会福祉
13	社会とつながる①役所・自治会	30	想定外の未来のために①見えない4つの学力
14	〃 ②図書館・公共施設	31	〃 ②リベラルアーツの重要性
15	〃 ③行事	32	〃 ③SDGs2030 年世界の目標
16	〃 ④地域・社会のルール・マナー	33	〃 ④SDGs 日本の達成度と課題
17	前期試験	34	〃 ⑤誰もが幸せに暮らす「平和の文化」を
		35	後期試験

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本の社会	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	オリエンテーション	18	労働力と働き方①就業形態の多様化
2	コロナ禍は何を変えたか①家庭・学校	19	〃 ②働き方改革
3	〃 ②外出・移動	20	〃 ③外国人労働者
4	〃 ③仕事・雇用	21	〃 ④AI
5	〃 ④医療	22	人権問題を考える①ジェンダー・LGBTQ
6	〃 ⑤心の問題	23	〃 ②いじめ・虐待
7	東京オリパラ開催に向けて①期待	24	〃 ③貧困と格差
8	〃 ②心配	25	ネット社会の注意点①情報漏洩・著作権
9	東日本大震災から 10 年①歩み	26	〃 ②フェイクニュース
10	〃 ②課題	27	〃 ③プライバシー侵害・誹謗中傷
11	東京一極集中と地方①大都市	28	〃 ④依存症
12	〃 ②地方都市	29	地域社会①縮小する地域社会
13	〃 ③農村地域	30	〃 ②新たな地域づくり・支え合い
14	少子高齢化の進展①出生率低下	31	多文化共生を考える①違いを認め合う
15	〃 ②長寿社会	32	〃 ②コミュニケーション・交流
16	〃 ③労働力不足	33	〃 ③生活・教育・就労環境の改善
17	前期試験	34	〃 ④すべての人が能力を発揮できる社会に
		35	後期試験

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	経営学	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	優れた経営がもつ「隠れたフォース」を探す	18	② ホンダのDNA（企業遺伝子）
2	1. ウォルマートの強さの秘密	19	③ 挑戦による目標の更新
3	① 企業成長の歴史：ビジョンと戦略	20	5. スリーMの強さの秘密
4	② 財務から見た強さの秘密	21	① 企業成長の歴史；ビジョンと戦略
5	③ ヒトの集団としての強さの秘密	22	② 商品開発と財務戦略
6	2. Amazon の強さの秘密	23	③ 従業員の暗黙知の活用
7	① 企業成長の歴史：ビジョンと戦略	24	6. ゼネラル・エレクトリックの強さの秘密
8	② 顧客戦略：選択と集中	25	① 企業成長の歴史：ビジョンと戦略
9	③ 強みを発展する戦略：AWS	26	② 人材戦略；長期的リーダーの育成法
10	【優れた経営の着眼点】	27	③ 多角化戦略と「選択と集中」
11	3. トヨタの強さの秘密	28	7. 日本電産強さの秘密
12	① 企業成長の歴史：ビジョンと戦略	29	① 企業成長の歴史；ビジョンと戦略
13	② 企業文化が強さの秘密	30	② スピード経営：Fast Eat Sllow
14	③ トヨタ生産システムの分析	31	8. 台湾企業の成長戦略
15	4. ホンダの強さの秘密	32	① 受注商売の高度化と差別化戦略
16	① 企業成長の歴史：ビジョンと戦略	33	人口はすでに起こった未来
17	【前期試験】	34	世界各国の人口分析と未来図
		35	【後期試験】

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	企業戦略・事業計画	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	講義の全体像、皆さんの国の可能性	18	②「顧客の創造」とは「信用の創造」
2	「志（ビジョン）」は人生の目的・生きた証	19	3. 「なかま（人）」という見えない資産
3	世界を変えた「ビジョナリー」の志と戦略1	20	① ビジョンがなかまを惹きつける
4	世界を変えた「ビジョナリー」の志と戦略2	21	② YBCは多様性に満ちたなかまの場
5	世界を変えた「ビジョナリー」の志と戦略3	22	4. 「しくみ」という見えない資産
6	遠くの星を追い求め、知らない国に辿り着く	23	① 「しくみ」によるビジネスモデル
7	「志（ビジョン）」「理念」「戦略」の体系	24	② ゲームチェンジャー
8	変革（Innovation）とは「新しい繋がり」	25	5. 「情報」という見えない資産
9	「普遍の法則」から戦略を導く	26	① 情報の原則：現場性・同時性
10	「8つの見えない力」が組織の優劣を決める	27	② フェイク情報を見ぬく
11	財務諸表には表れない「暗黙知」という資産	28	6. 「情熱」という見えない資産
12	1. 「時間（スピード）」という見えない資産	29	① すべては情熱と勇気から始まる
13	① IT・物流が「時空」を変えた	30	② 「情熱」が「継続性」を生みだす
14	③ 世界的「時間価値競争」の時代	31	7. 「本質」を見ぬく力
15	2. 「信用」という見えない資産	32	① ものごとの根っ子をつかむ
16	① お客さまの求めるものは「価値」	33	② 「科学的思考法・ロジカルシンキング」
17	【前期試験】	34	これからの10年間で人生を分ける
		35	【後期試験】

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本の企業・海外の企業 (キャリアデザイン)	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	キャリアデザインを学ぶ意義	18	企業のミッション・ビジョン
2	はたらくとは何かーキャリアの定義	19	コンピテンシーについて
3	Internal Motivation vs External Motivation	20	Job Description
4	日本における企業の起こり・歴史	21	高校までのキャリア
5	日本の企業 1 メルカリ・楽天（変更の可能性あり）	22	山手ビジネスカレッジのキャリア
6	日本の企業 2 パナソニック・ソフトバンク・ファーストリテイリング（変更の可能性あり）	23	入社後のキャリアの危機
7	日本の企業 3 NTT コミュニケーションズ・ファミリーマート（変更の可能性あり）	24	30 歳をにらむ時期のキャリアデザイン
8	日本の企業 4 ホンダ・日立物流・味の素（変更の可能性あり）	25	基礎力を身につける・すべてに仕事に共通する力
9	海外の企業 ーアメリカ	26	基礎力を身につける・対人能力
10	海外の企業 ーヨーロッパ	27	基礎力を身につける・対自己能力
11	海外の企業 ーアジア 中国	28	基礎力を身につける・対課題能力
12	労働基準法・就業規則 その 1	29	基礎力を身につける・処理力・思考力, 仕事に向かう態度
13	労働基準法・就業規則 その 2	30	履歴書と職務経歴書
14	コンプライアンスとガバナンス	31	面接 1
15	社風	32	面接 2
16	まとめ 1	33	人はなぜ会社を辞めるのか
17	期末試験（前期）	34	まとめ 2
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	ビジネスマナー	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全35回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	授業の進め方と自己紹介	18	企業研究の方法
2	自己表現（作文）	19	企業研究シート作成
3	日本人と働く心構え	20	電話の受け方・かけ方
4	時間厳守	21	ビジネスメールの書き方
5	身だしなみ	22	配慮のある話し方
6	あいさつ・お辞儀	23	上司・先輩との付き合い方
7	自己分析	24	ウチとソトの関係・チームワーク
8	他己分析	25	報告・連絡・相談
9	自己分析・他己分析の結果	26	情報管理・ハラスメント
10	敬語のつかい方	27	履歴書作成
11	話しことばと書きことば	28	志望動機作成の準備
12	漢字の使い方（PC）	29	志望動機作成
13	自分史・人生曲線	30	エントリーシート作成の準備
14	自分史作成	31	エントリーシート作成
15	未来史	32	話を聞く時・指示を受ける時
16	自己 PR	33	自己 PR プレゼンテーション
17	期末試験（前期）	34	後期試験の為の理解度チェック
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	産業各論 I	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	産業①分類・定義・学説	18	第一次産業：農業①農業の発展と停滞
2	産業②連関表	19	第一次産業：農業②地産地消・アグリビジネス・スマート農業
3	産業「Industry」に関わるプレーヤー	20	第一次産業：林業
4	産業構造の発展①第一次産業革命	21	第一次産業：漁業・水産業
5	産業構造の発展②第二次産業革命	22	第三次産業①サービス産業
6	産業構造の発展③第三次産業革命	23	第三次産業②情報通信業
7	産業構造の発展④第四次産業革命	24	第三次産業③運輸業・宿泊業
8	第二次産業①製造業の概要	25	第三次産業④旅行業
9	現代日本の産業構造①全体像と変化	26	第三次産業⑤不動産業
10	現代日本の産業構造②主要産業と企業	27	第三次産業⑥卸売・小売業
11	現代日本の産業構造③サプライチェーン	28	第三次産業⑦銀行・証券
12	現代日本の産業構造④地域産業	29	第三次産業⑧保険業
13	産業構造の変化①イノベーション	30	第三次産業⑨医療・福祉
14	産業構造の変化②今後の動向・Society 5.0	31	第三次産業⑩教育・学習支援業
15	第二次産業②製造業の課題	32	第三次産業⑪ブライダル・セレモニー・アミューズメント
16	前期のまとめ	33	第三次産業⑫シェアリング・その他サービス
17	期末試験（前期）	34	後期のまとめ
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	商法・会社法	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全35回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	ビジネスと法	18	会社法⑦役員等の義務と責任 2
2	法の一般原則	19	会社法⑧会社と取締役間との訴訟
3	法律用語・六法の見方	20	会社法⑨委員会型の会社
4	商法・会社法と民法	21	会社法⑩コーポレート・ガバナンス
5	民法①契約・債権債務	22	会社法⑪計算・配当
6	民法②法律行為・時効	23	会社法⑫資金調達・社債
7	民法③不法行為	24	会社法⑬組織再編・事業譲渡・持分会社
8	商法①商人と商行為	25	会社法⑭内部統制システム・金融商品取引法
9	商法②商号・商業使用人	26	法令違反リスク①金商法インサイダー取引
10	商法③商事契約	27	法令違反リスク②独占禁止法・下請法
11	会社法①会社の種類・定款・設立	28	法令違反リスク③著作権法・特許法
12	会社法②株式・株主・資本金	29	法令違反リスク④刑法・コンピュータ犯罪
13	会社法③株主総会・取締役	30	法令違反リスク⑤労働法
14	会社法④取締役会・監査役・会計監査人	31	法令違反リスク⑥税法・消費者法
15	会社法⑤代表取締役	32	法令違反リスク⑦製造物責任法・環境法
16	会社法⑥役員等の義務と責任 1	33	法令違反リスク⑧その他
17	期末試験（前期）	34	まとめ・コンプライアンス経営
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本語 I	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 175 回
単 位 数	10 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	時間数
第 1 回～第 4 回	字形指導	4 回
第 5 回～第 34 回	日本語総まとめ 漢字語彙 N3 復習	31 回
第 35 回～第 50 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 1 週目	16 回
第 51 回～第 66 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 2 週目	16 回
第 67 回～第 80 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 3 週目	14 回
第 81 回～第 85 回	期末試験（前期）	5 回
第 86 回～第 88 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 3 週目	3 回
第 89 回～第 104 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 4 週目	16 回
第 105 回～第 120 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 5 週目	16 回
第 121 回～第 136 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 6 週目	16 回
第 139 回～第 152 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 7 週目	16 回
第 153 回～第 168 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 8 週目	16 回
第 169 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 1 週目	1 回
第 170 回～第 174 回	期末試験（後期）	5 回

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本語Ⅱ	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 175 回
単 位 数	10 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	時間数
第 1 回～第 4 回	字形指導	4 回
第 5 回～第 34 回	日本語総まとめ 文法 N3 復習	31 回
第 35 回～第 50 回	N2 日本語総まとめ 文法 1 週目	16 回
第 51 回～第 66 回	N2 日本語総まとめ 文法 2 週目	16 回
第 67 回～第 80 回	N2 日本語総まとめ 文法 3 週目	14 回
第 81 回～第 85 回	期末試験（前期）	5 回
第 86 回～第 88 回	N2 日本語総まとめ 文法 3 週目	3 回
第 89 回～第 104 回	N2 日本語総まとめ 文法 4 週目	16 回
第 105 回～第 120 回	N2 日本語総まとめ 文法 5 週目	16 回
第 121 回～第 136 回	N2 日本語総まとめ 文法 6 週目	16 回
第 139 回～第 152 回	N2 日本語総まとめ 文法 7 週目	16 回
第 153 回～第 168 回	N2 日本語総まとめ 文法 8 週目	16 回
第 169 回	N1 日本語総まとめ 文法 1 週目	1 回
第 170 回～第 174 回	期末試験（後期）	5 回

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	実技
授 業 科 目 名	IT情報Ⅰ	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全175回
単 位 数	5 単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	1 年次前期ガイダンス	21	計算とセル参照
2	起動/終了・マウス&キーボード操作	22	関数
3	日本語入力練習	23	文字と数字
4	インターネットアクセスとメール送信	24	型指定と数値丸め
5	ファイルとフォルダ	25	書式設定
6	Microsoft Teams の利用	26	さまざまなグラフ①
7	日本語タイピングスキル確認	27	さまざまなグラフ②
8	自分が使っているサービス	28	さまざまなグラフ③
9	SNS/検索エンジン:インターネットの入り口	29	2 種類のグラフの重ね合わせ①
10	"EC/物流：顧客商品情報管理	30	2 種類のグラフの重ね合わせ②
11	小売業（コンビニ）調査	31	文字
12	小売業（コンビニ）報告と補足	32	リスト
13	観光業（ホテル）調査	33	画像挿入
14	観光業（ホテル）報告と補足	34	ヘッダ・フッタ
15	小売と観光の共通点と相違点	35	コメント
16	Office セットアップ	36	文字
17	文字	37	図形
18	セル操作	38	効果
19	図形	39	アニメーション
20	罫線と斜線	40	音声録音

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

講義計画 IT情報 I

回	内 容	回	内 容
41	エクセル表をワードに挿入	76	小売業での利用
42	エクセル表をパワポに挿入	77	通販サイトを構築
43	互換性と PDF	78	観光業での利用
44	クラウド共有	79	ホテルに無料 Wi-Fi を設置する
45	オンライングループ作業	80	小売と観光の共通点と相違点をまとめる
46	さまざまな OS を知る	81	Office 操作実技
47	5 大要素	82	タイピング模擬試験受講
48	PC の負荷を理解する	83	前期試験
49	単品価格を調べる	84	解答解説
50	事務用 PC を選定する	85	予備日
51	スマホの動画と写真・メディアファイル	86	1 年次後期ガイダンス
52	画像サイズと容量・圧縮	87	見積書とは
53	テキストと文字コード	88	計算式を活用
54	Office で扱える形式	89	見積書作成
55	ファイルに関する小テスト	90	請求書と納品書
56	サーバクライアントモデル	91	スマートアートの活用
57	URL とドメイン	92	手順
58	IP アドレス確認	93	構造
59	クラウドの向こう側	94	組織図
60	インターネットに関する小テスト	95	マトリクス図
61	有線と無線・Wi-Fi のセキュリティー	96	テンプレートの活用
62	実機ネットワーク設定体験	97	文字サイズと色
63	回線の速度と規格	98	図版の使い方
64	国内モバイル回線比較・通信と通話	99	発表者ツール活用
65	社員用モバイル回線契約検討	100	発表の構成
66	コンピュータウイルス	101	時系列を表で表現する
67	盗聴と暗号通信	102	時間割
68	メールのリスク	103	カレンダー
69	不正アクセス・改竄・漏洩など	104	手続き図
70	VPN とゼロトラスト	105	シーケンス図
71	機器故障・誤消去とバックアップ	106	企画(ワード)
72	ストレージの暗号化	107	広告・広報(パワポ)
73	シンクライアントとクラウド	108	販売管理(エクセル)
74	PC を安全に廃棄する	109	集計・分析(エクセル)
75	セキュリティーに関する小テスト	110	報告(パワポとワード)

講義計画 IT情報 I

回	内 容	回	内 容
111	レコードという概念	146	エクセルで集計
112	名簿を作る	147	グラフ化
113	名簿を作る	148	グラフ化
114	データの更新性	149	パワポで資料化
115	身の回りの配列（キューとスタック）	150	結果共有
116	売上管理表を 1 シートで作る	151	目的情報へのリーチ手段
117	条件フィルター	152	アクセス元の多様化（検索・広告・SNS・比較レビューサイト）
118	条件フィルター	153	PC からスマホへ
119	内容に応じてシートを分ける	154	外部発信 SNS(Twitter, Instagram, TikTok)
120	シートの連携を考える	155	印象に残った事例を紹介する 1
121	データを一意に定めるためのインデックス	156	コミュニケーション SNS(LINE, Discord, Slack)
122	インデックスを利用したリレーション	157	印象に残った事例を紹介する 2
123	vlookup 概要	158	利用者像の設定
124	vlookup 練習	159	ビデオ通話の隆盛
125	その他の参照関数	160	SNS のビジネス活用（宣伝と社内連絡）
126	表記ゆれ	161	通販とレビュー
127	セル統合	162	ハッシュタグとエコーチェンバー
128	書式の活用	163	炎上・虚偽情報
129	変化を示す情報の付与	164	メタバース
130	エクセル方眼紙に注意	165	各 SNS のビジネス活用レポート
131	1 セル 1 データ	166	身の回りのサービスのマネタイズ
132	CSV 書き出し互換性	167	買い切り・サブスク
133	ソータブルと計算式の排除	168	無償/広告
134	集計の目的(結果 or 集計)を理解する	169	決済サービス
135	レコードとデータ整形の小テスト	170	マネタイズ活用レポート課題
136	データベースとは	171	Office 操作実技
137	主要なデータベースソフトウェア	172	後期試験
138	SQL	173	解答解説
139	要件定義	174	解答解説
140	検索結果 0 件の意味	175	予備日
141	Google Form 概要		
142	アンケートの作り方		
143	個人情報の取扱		
144	作問・実施		
145	データエクスポート		

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	現代世界経済	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	世界経済の概要	18	途上国の市場経済化：先進国と途上国の関係
2	世界経済：国の数・国土、人口・民族、GDP	19	デジタル・エコノミー：情報通信革命と物価
3	世界経済：産業構造、技術、天然資源	20	デジタル・エコノミー：プラットフォーム
4	世界経済：国民生活、国際化の軋轢	21	デジタル・エコノミー：米中の技術覇権摩擦
5	国際貿易：一般貿易。貿易収支と貿易構造	22	人口：世界人口の急増、少子高齢化
6	国際貿易：サービス収支、関税・非関税障壁	23	食料：世界の食料事情、食料消費の高度化
7	国際貿易：直接投資、WTO 体制	24	エネルギー・資源：省エネ、資源貿易問題
8	国際金融：資本の流れ、金融資本市場	25	地球環境保全：広域化する環境問題
9	国際金融：金利、株価、金融派生商品	26	地球環境保全：途上国の環境問題、気候変動
10	国際金融：為替制度、IMF 体制	27	地球環境保全：自然環境と生態系、SDGs と ESG
11	多極化：世界経済の再編成	28	経済危機：大恐慌、中南米諸国の危機
12	地域統合：EU、USMCA、TPP	29	経済危機：日本バブル経済、アジア通貨危機
13	貿易摩擦：貿易・経済摩擦、米中貿易摩擦	30	経済危機：南欧諸国の財政危機、中国の債務
14	指令経済：社会主義と資本主義、ソ連の解体	31	構造変化：市場のグローバル化
15	途上国の市場経済化：中国、インドの発展	32	構造変化：政治の一国体制
16	前期のまとめ（世界経済の動向）	33	構造変化：市場と政治における矛盾
17	期末試験（前期）	34	後期のまとめ（世界経済の課題）
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	経済政策	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	経済指標と経済政策の目標	18	労働市場政策：長時間労働、働き方改革
2	人口政策：人口減少社会と少子化対策	19	労働市場政策：外国人労働者の受入動向
3	人口政策：高齢化と年金問題	20	労働市場政策：技能実習制度
4	社会保障政策：社会保険	21	財政政策：経済安定化政策
5	社会保障政策：公的扶助	22	財政政策：所得再分配政策
6	社会保障政策：ベーシックインカムの再考	23	財政政策：日本の税制の仕組み
7	地域政策：地方消滅と市町村の合併	24	経済成長政策：実質 GDP の推移
8	地域政策：二重行政と市町村の合併	25	経済成長政策：技術進歩の促進
9	地域政策：コンパクトシティ	26	金融政策：中央銀行の役割、金利政策
10	農業政策：食料自給率	27	金融政策：量的緩和
11	農業政策：産物貿易自由化	28	貿易政策：国際経済取引と国際収支
12	農業政策：日本農業のポテンシャル	29	貿易政策：手段と効果
13	労働市場政策：労働市場、最低賃金	30	貿易政策：貿易協定
14	労働市場政策：日本的雇用システム	31	貿易政策：国際通貨システムと為替レート
15	労働市場政策：労働市場改革の方向性	32	地球温暖化防止政策：気候変動
16	前期のまとめ（経済政策の必要性）	33	地球温暖化防止政策：SDGs
17	期末試験（前期）	34	後期のまとめ（経済政策の拡大）
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	金融論	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	金融論を学ぶ意義 1	18	資金の循環と金融市場・資本市場 2
2	貨幣と日本の決済システムー交換経済と貨幣	19	金利と資産の価格 — 金利とは
3	銀行制度と決済システム	20	金利と資産の価格 — 金利の決定 1
4	貨幣創造機関としての銀行	21	金利と資産の価格 — 金利の決定 2
5	資金の貸借と金融 — 貨幣の機能と金融	22	金利と資産の価格 — 資産価格と金利
6	資金の貸借と金融 — 資金の調達と運用	23	デリバティブとリスクの移転ー金利スワップ
7	金融機関と金融仲介 — 日本の金融機関	24	デリバティブとリスクの移転ー先物取引
8	金融機関と金融仲介 — 公的金融仲介機構	25	デリバティブとリスクの移転ーオプション
9	金融機関と金融仲介 — 金融仲介機関の機能 1	26	金融ビッグバンと金融システムの安定化 — 金融規制とその問題点
10	金融機関と金融仲介 — 金融仲介機関の機能 2	27	金融ビッグバンと金融システムの安定化 — 金融ビッグバンとは何か
11	金融機関と金融仲介 — 金融仲介機関と企業統治	28	金融ビッグバンと金融システムの安定化 — 金融システムの安定化
12	資金の循環と金融市場・資金の循環と金融機関	29	金融と景気と物価ー国内総生産の決定と変動
13	資金の循環と金融市場・狭義の市場取引と相対取引	30	金融と景気と物価ー景気変動と金融
14	資金の循環と金融市場・短期金融市場	31	金融政策とマクロ経済・金融政策の目的と手段
15	資金の循環と金融市場・資本市場 1	32	金融政策と金利と為替レート
16	まとめ 1	33	金融政策とマネーサプライ
17	期末試験（前期）	34	まとめ 2
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	企業組織	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	はじめに (組織とは)	18	意思決定 (個人と集団)
2	個人の欲求 (働き方)	19	集団の失敗 (集団圧力・集団浅慮)
3	付加価値 (企業の目的)	20	コンフリクト (発生タイプ)
4	分業 (経営資源)	21	組織コミットメント (定着率)
5	キャリア (企業と個人の関係)	22	従業員代表制 (経営参加)
6	社会化 (組織人)	23	ダイバシティ (同質性と異質性)
7	組織文化 (組織の価値観)	24	組織デザイン (ラインとスタッフ・標準化)
8	官僚制 (組織ルール)	25	ヒエラルキー (機能別・事業部制・マトリックス)
9	モチベーション (仕事意欲)	26	組織学習 (学習サイクル)
10	従業員管理 (適材適所)	27	外部環境 (利害者集団とガバナンス)
11	人事評価 (目標管理)	28	組織変革 (組織のライフサイクル)
12	キャリア開発 (人事異動・研修)	29	ビジネスシステム (価値創造)
13	人間関係 (職場集団)	30	集中化と外部化 (事業再編)
14	リーダーシップ① (役割)	31	持株会社と子会社 (組織再編)
15	リーダーシップ② (権限委譲)	32	非営利組織 (ネットワーク組織)
16	リーダーシップ③ (状況適合)	33	ビジョン (経営理念と社会的責任)
17	前期試験	34	まとめ (社会貢献)
		35	後期試験

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	財務戦略・財務管理	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	財務戦略・財務管理を学ぶ意義	18	経常利益の概念
2	会計と財務の違い 1	19	加重平均資本コスト WACC
3	会計と財務の違い 2	20	税引き後営業利益
4	財務会計と管理会計	21	無利子負債
5	資金調達の方法	22	EVA スプレッド
6	売掛金と買掛金	23	投資家の信頼
7	固定資産・損益計算書・キャッシュフロー計算書	24	現在価値の計算
8	三つの意思決定にかかわること	25	リスク認識と割引率
9	期待収益率	26	会社の値段
10	負債コスト、株主資本コスト	27	企業価値の計算
11	負債コスト、株主資本コスト、経常利益の概念	28	投資の判断基準
12	ハイリスクハイリターン	29	IRR 法
13	CAPM 理論	30	お金の借り方返し方 リバレッジ
14	負債コスト	31	お金の借り方返し方 最適な資本構成
15	株主資本コスト	32	お金の借り方返し方 格付けと WACC の関係
16	まとめ 1	33	自社株取得、企業のライフサイクルと分配
17	期末試験（前期）	34	まとめ 2
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	生産管理・販売管理	授 業 期	前後期
履 修 学 年	1 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	講義の全体像、1 年の後期試験のコメント	18	④ムダの原因を分析し対策を考える
2	「志（ビジョン）」のもち方と使い方	19	3. 資金戦略と財務機能
3	「理念」の内容確認：ぶれない枠組み	20	① ムダな資産がムダを生む
4	「戦略」の内容確認：人生計画の道すじ	21	② ムダのない在庫・設備・人員
5	会社・組織設立に向けて必要とすること	22	③ ローコスト経営が競争力：儉約
6	見えない資産が組織・会社の優劣を決める	23	④ 自己資本 100%の経営基盤
7	1. 販売戦略とマーケティング	24	4. 経営戦略とマネジメント
8	① お客さまはモノでなく「価値」を買う	25	① 人づくり、組織作り、リーダーづくり
9	② IT技術によるCRM戦略	26	② 資産は少ない方が良い
10	③ 「市場シェア」から「顧客シェア」	27	③ 「リンゲルマンの法則」
11	④ お客さまとマーケティング	28	④ 効果・効率を妨げる「ピーターの法則」
12	⑤ 商売の分類：「見込み商売」「受注商売」	29	⑤ 敵はセクショナリズムと官僚主義
13	2. 製造戦略と調達戦略	30	5. ビジョン＝事業・組織の定義
14	① 価格＝品質÷価格、品質をブランドに	31	6. 優れたリーダーと企業文化に学ぶ 1
15	② 時間の浪費を生み出す「真因」はムダ	32	7. 優れたリーダーと企業文化に学ぶ 2
16	③ トヨタ・プロダクション・システム	33	ビジョン実現のための設計図
17	【前期試験】	34	「暗黙知」を活かす経営
		35	【後期試験】

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	ビジネス文書	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 35 回
単 位 数	2 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	ビジネスと文書	18	前期試験
2	夢と目標を書く	19	ビジネス文書の 5 つの成功要因
3	ビジネス会話（挨拶、自己紹介、名刺交換）	20	メール①（目的、種類、Audience analysis）
4	日記とビジネス文書	21	メール②（スタイルガイド、Readability）
5	話し言葉と書き言葉（5W1H、6W2H）	22	メール③（依頼&問い合わせメール）
6	自分の経歴と自己アピール	23	メール④（確認&回答メール）
7	就職活動①履歴書作成の重要ポイント	24	ビジネスメール&文書の作り方と違い
8	就職活動②履歴書作成（経歴の整理）	25	NG メールと OK メール
9	就職活動③履歴書作成（自己 PR）	26	実践①（新入社員の挨拶&自己紹介）
10	就職活動④履歴書作成（志望動機）	27	実践②（会社の電話とメールの使い方）
11	就職活動⑤履歴書のまとめ	28	実践③（社内の通知&案内メール作成）
12	文書の構成要素①（標準的日本語表記）	29	実践④（社内の報告メール作成）
13	文書の構成要素②（クッション言葉と敬語）	30	実践⑤（社内の依頼&申請メール作成）
14	ビジネス用語とビジネス文書汎用用語①	31	実践⑥（社外への依頼&確認メール作成）
15	ビジネス用語とビジネス文書汎用用語②	32	実践⑦（社外への通知メール作成）
16	ビジネス用語とビジネス文書汎用用語③	33	実践⑧（社外への案内メール作成）
17	ビジネス文書のまとめと前期試験練習問題	34	ビジネス文書のまとめと後期試験練習問題
		35	後期試験

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	産業各論Ⅱ	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2学年	授 業 回 数	全35回
単 位 数	2単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	産業各論Ⅰ復習、Ⅱの進め方	18	工場立地とサプライチェーン
2	ワーク・ルール①	19	CLMVTと日本
3	ワーク・ルール②	20	第二次産業：生活用品
4	ワーク・ルール③	21	第二次産業：建設・住宅
5	ワーク・ルール④	22	第二次産業：自動車・自動車部品
6	労働安全衛生管理とメンタルヘルスケア	23	第二次産業：運送用機器
7	製造業を取り巻く環境の変化	24	SDGs
8	第二次産業：食品・水産	25	ビジネスと人権
9	第二次産業：機械	26	第二次産業：設備・インテリア
10	第二次産業：プラント	27	第二次産業：家具・木工
11	第二次産業：化学製品	28	工場見学①：2コマで実施
12	第二次産業：家電・携帯電話	29	工場見学②：2コマで実施
13	第二次産業：電気機器・電子部品	30	工場見学振り返り
14	第二次産業：製菓・化粧品	31	ものづくり支援
15	第二次産業：医療機器・介護用品	32	製造業が抱える課題①
16	前期のまとめ	33	製造業が抱える課題②
17	期末試験（前期）	34	後期のまとめ
		35	期末試験（後期）

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

※いずれかの回に、職業人を招いて講話を伺う場合がある。

※工場見学は、社会情勢と受入先企業の都合等によって、回が前後または実施できない場合がある。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	プレゼンテーション	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2学年	授 業 回 数	全45回
単 位 数	2単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	(講義)プレゼンテーションとは?	23	(講義)企業におけるプレゼンテーション
2	(講義)良いプレゼンテーションのために	24	(実技③)面接自己紹介 ゲストによるモデル①
3	(講義)プレゼンテーションツール	25	(実技③)面接自己紹介 ゲストによるモデル②
4	(実技①)私の生い立ち ゲストによるモデル①	26	(実技③)面接自己紹介 学生発表①
5	(実技①)私の生い立ち ゲストによるモデル②	27	(実技③)面接自己紹介 学生発表②
6	(実技①)私の生い立ち ゲストによるモデル③	28	(実技③)面接自己紹介 学生発表③
7	(実技①)私の生い立ち 学生準備	29	(実技③)面接自己紹介 学生発表④
8	(実技①)私の生い立ち 学生発表①	30	(実技④)企画提案 ゲストによるモデル①
9	(実技①)私の生い立ち 学生発表②	31	(実技④)企画提案 ゲストによるモデル②
10	(実技①)私の生い立ち 学生発表③	32	(実技④)企画提案 ゲストによるモデル③
11	(実技①)私の生い立ち 学生発表④	33	(実技④)企画提案 学生準備①
12	(実技①)私の生い立ち 学生発表⑤	34	(実技④)企画提案 学生準備②
13	(講義)実技の講評	35	(実技④)企画提案 学生発表①
14	(講義)実技の講評	36	(実技④)企画提案 学生発表②
15	(実技②)私の将来 ゲストによるモデル①	37	(実技④)企画提案 学生発表③
16	(実技②)私の将来 ゲストによるモデル②	38	(実技⑤)商品紹介 学生準備
17	(実技②)私の将来 ゲストによるモデル③	39	(実技⑤)商品紹介 学生発表①
18	(実技②)私の将来 学生準備	40	(実技⑤)商品紹介 学生発表②
19	(実技②)私の将来 学生発表①	41	(実技⑤)商品紹介 学生発表③
20	(実技②)私の将来 学生発表②	42	(実技⑤)商品紹介 学生発表④
21	(実技②)私の将来 学生発表③	43	(実技⑤)商品紹介 学生発表⑤
22	前期試験	44	(講義)まとめ
		45	後期試験

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本語Ⅲ	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2学年	授 業 回 数	全175回
単 位 数	10単位	授 業 時 間	1コマ／50分

講義計画

回	内 容	時間数
第 1 回～第 5 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 7 週目	5 回
第 6 回～第 21 回	N2 日本語総まとめ 漢字語彙 8 週目	16 回
第 22 回～第 34 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 1 週目	13 回
第 35 回～第 47 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 2 週目	13 回
第 48 回～第 60 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 3 週目	13 回
第 61 回～第 73 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 4 週目	13 回
第 74 回～第 80 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 5 週目	7 回
第 81 回～第 85 回	期末試験（前期）	5 回
第 86 回～第 92 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 5 週目	7 回
第 93 回～第 105 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 6 週目	13 回
第 106 回～第 118 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 7 週目	13 回
第 119 回～第 131 回	N1 日本語総まとめ 漢字語彙 8 週目	13 回
第 132 回～第 169 回	日本語ビジネス演習（話す・聞く）	38 回
第 170 回～第 174 回	期末試験（後期）	5 回

※期末試験は前期1回、後期1回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	講義
授 業 科 目 名	日本語Ⅳ	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 175 回
単 位 数	10 単位	授 業 時 間	1 コマ / 50 分

講義計画

回	内 容	時間数
第 1 回～第 5 回	N2 日本語総まとめ 文法 7 週目	5 回
第 6 回～第 21 回	N2 日本語総まとめ 文法 8 週目	16 回
第 22 回～第 34 回	N1 日本語総まとめ 文法 1 週目	13 回
第 35 回～第 47 回	N1 日本語総まとめ 文法 2 週目	13 回
第 48 回～第 60 回	N1 日本語総まとめ 文法 3 週目	13 回
第 61 回～第 73 回	N1 日本語総まとめ 文法 4 週目	13 回
第 74 回～第 80 回	N1 日本語総まとめ 文法 5 週目	7 回
第 81 回～第 85 回	期末試験（前期）	5 回
第 86 回～第 92 回	N1 日本語総まとめ 文法 5 週目	7 回
第 93 回～第 105 回	N1 日本語総まとめ 文法 6 週目	13 回
第 106 回～第 118 回	N1 日本語総まとめ 文法 7 週目	13 回
第 119 回～第 131 回	N1 日本語総まとめ 文法 8 週目	13 回
第 132 回～第 169 回	日本語ビジネス演習（読む・書く）	38 回
第 170 回～第 174 回	期末試験（後期）	5 回

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

2022年度 授業概要（シラバス）

年 度	2022年度	授 業 の 方 法	実技
授 業 科 目 名	I T 情報Ⅱ	授 業 期	前後期
履 修 学 年	2 学年	授 業 回 数	全 1 7 5 回
単 位 数	5 単位	授 業 時 間	1 コマ / 5 0 分

講義計画

回	内 容	回	内 容
1	2 年次前期ガイダンス	21	MOS Excel 11
2	ビジネスメール入門	22	MOS Excel 12
3	オンライン広告と従来の広告の違いと現在のマーケティングの潮流	23	MOS Excel 13
4	さまざまなサイトの広告を見て内容を別の人と比較する	24	MOS Excel 14
5	Google マーケティングツールと skillshop 登録	25	MOS Excel 15
6	Word 復習 1	26	MOS Excel 模擬テスト 1
7	Word 復習 2	27	MOS Excel 模擬テスト 2
8	PowerPoint 復習 1	28	MOS Excel 模擬テスト 3
9	PowerPoint 復習 2	29	MOS Excel 模擬テスト 4
10	MOS Excel ガイダンス	30	MOS 受験登録
11	MOS Excel 1	31	オンライン講座受講：Google 広告「ディスプレイ広告」認定資格 1
12	MOS Excel 2	32	オンライン講座受講：Google 広告「ディスプレイ広告」認定資格 2
13	MOS Excel 3	33	オンライン講座受講：Google 広告「ディスプレイ広告」認定資格 3
14	MOS Excel 4	34	オンライン講座受講：Google 広告「ディスプレイ広告」認定資格 4
15	MOS Excel 5	35	認定試験挑戦
16	MOS Excel 6	36	オンライン講座受講：Google 広告の測定認定資格 1
17	MOS Excel 7	37	オンライン講座受講：Google 広告の測定認定資格 2
18	MOS Excel 8	38	オンライン講座受講：Google 広告の測定認定資格 3
19	MOS Excel 9	39	オンライン講座受講：Google 広告の測定認定資格 4
20	MOS Excel 10	40	認定試験挑戦

※期末試験は前期 1 回、後期 1 回とする。

講義計画 I T 情報 II

回	内 容	回	内 容
41	オンライン講座受講：「ショッピング広告」認定資格 1	76	オンライン講座受講：アナリティクス上級 3
42	オンライン講座受講：「ショッピング広告」認定資格 2	77	オンライン講座受講：アナリティクス上級 4
43	オンライン講座受講：「ショッピング広告」認定資格 3	78	アナリティクス個人認定資格(GAIQ)受験
44	オンライン講座受講：「ショッピング広告」認定資格 4	79	設置済みアナリティクスの結果を見る
45	認定試験挑戦	80	問題点の分析と改善提案
46	オンライン講座受講：Google 広告の動画広告認定資格 1	81	不合格者認定試験再受験 1
47	オンライン講座受講：Google 広告の動画広告認定資格 2	82	不合格者認定試験再受験 2
48	オンライン講座受講：Google 広告の動画広告認定資格 3	83	レポート修正 1
49	オンライン講座受講：Google 広告の動画広告認定資格 4	84	レポート修正 2
50	認定試験挑戦	85	予備日
51	オンライン講座受講：Google 広告「検索広告」の認定資格 1	86	2 年次後期ガイダンス
52	オンライン講座受講：Google 広告「検索広告」の認定資格 2	87	見積書とは
53	オンライン講座受講：Google 広告「検索広告」の認定資格 3	88	計算式を活用
54	オンライン講座受講：Google 広告「検索広告」の認定資格 4	89	見積書作成
55	認定試験挑戦	90	請求書と納品書
56	オンライン講座受講：Google 広告「アプリ広告」認定資格 1	91	スマートアートの活用
57	オンライン講座受講：Google 広告「アプリ広告」認定資格 2	92	手順
58	オンライン講座受講：Google 広告「アプリ広告」認定資格 3	93	構造
59	オンライン講座受講：Google 広告「アプリ広告」認定資格 4	94	組織図
60	認定試験挑戦	95	マトリクス図
61	学校の広告を考える	96	テンプレートの活用
62	広告形態選定	97	文字サイズと色
63	掲載条件設定	98	図版の使い方
64	広告提案書作成 1	99	発表者ツール活用
65	広告提案書作成 2	100	発表の構成
66	オンライン講座受講：次世代の Google アナリティクスについて	101	レコードという概念
67	オンライン講座受講：アナリティクス初級 1	102	名簿を作る 1
68	オンライン講座受講：アナリティクス初級 2	103	名簿を作る 2
69	オンライン講座受講：アナリティクス初級 3	104	売上管理表を 1 シートで作る
70	オンライン講座受講：アナリティクス初級 4	105	条件フィルター
71	オンライン講座受講：Google アナリティクスを使用してビジネス目標を達成する 1	106	内容に応じてシートを分ける
72	オンライン講座受講：Google アナリティクスを使用してビジネス目標を達成する 2	107	シートの連携を考える
73	オンライン講座受講：Google アナリティクスを使用してビジネス目標を達成する 3	108	データを一意に定めるためのインデックス
74	オンライン講座受講：アナリティクス上級 1	109	vlookup 概要
75	オンライン講座受講：アナリティクス上級 2	110	vlookup 練習

講義計画 I T 情報Ⅱ

回	内 容	回	内 容
111	決定木	146	見積書ブラッシュアップ②
112	エクセルで決定木	147	対面プレゼンの注意点
113	タイタニック例題	148	ミニプレゼン実施
114	身近な決定木の例を考える	149	オンラインプレゼンの注意点
115	エクセルで実装	150	録画と確認
116	データサイエンスとは	151	課題説明
117	尺度と標本	152	データ収集①
118	平均・中央値・最頻値	153	データ収集②
119	分散・標準偏差	154	テーマ決定
120	誤差	155	データ分析①
121	相関	156	データ分析②
122	回帰分析	157	グラフ作成①
123	疑似相関	158	グラフ作成②
124	e-Stats の利用	159	発表パワポ作成①
125	平均・中央値・最頻値算出	160	発表パワポ作成②
126	分散・標準算出	161	パワポ相互確認
127	相関算出	162	課題最終調整①
128	回帰分析実施	163	課題最終調整②
129	東京都の人口分布	164	相互発表
130	東京都の文化事業の推移	165	課題最終調整
131	東京都と埼玉県の人口分布比較	166	発表①
132	東京都と埼玉県の文化推移の比較	167	発表②
133	他形式のグラフと比較する	168	発表③
134	Google Form 概要	169	発表④
135	アンケートの作り方と個人情報	170	発表⑤
136	作問・実施	171	発表への感想レポート①
137	データエクスポート	172	発表への感想レポート②
138	エクセルで集計とグラフ化	173	後期試験
139	相関と回帰分析	174	解答解説
140	パワポで資料化	175	予備日
141	企画書ブラッシュアップ①		
142	企画書ブラッシュアップ②		
143	工程表ブラッシュアップ①		
144	工程表ブラッシュアップ②		
145	見積書ブラッシュアップ①		